

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 明日の輪			
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日 ~ 令和8年2月6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日 ~ 令和8年2月6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動が固定化しないように職員間で話し合いを持ちながら検討を行っている。	毎月の活動計画を作成する際には児童の様子やご家族の要望を取り入れながら作成を行っている。	将来に向けたより内容や質の高い活動の提供に努めていきたい。
2	卒業後の児童本人や保護者の希望や不安への話を聞いた、個別に相談等の対応をしている。	中高生が多いことから、日々の活動等を通して話し方なども十分注意しながら声掛けをしたり、じっくり話を聞いて悩みなどを出来る限り少なくしていこうと各職員が心掛けている。	児童一人一人の特性や学年に応じて適切に対応をしていく。
3	児童が通ってくることを楽しみにしてくれており、安心できる場所となっている。	児童が安心できるように発言や希望には肯定的に対応し、話を聞くようにしている。	専門性について「わからない」「どちらともいえない」といった意見をいただいているため、専門性が向上できるように研修に参加したり、日々の支援の中で児童の小さな変化に気づき、職員間で共有できるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の評価表の中に専門性について「わからない」「どちらともいえない」といった意見があった。看護師やPT、OT、ST等の専門職がない。	看護師やPT、OT、ST等の専門職については採用の予定はない。環境の構造化や児童がわかりやすい説明等については心掛けているが保護者に見ていただく機会が少ない。	保育士や強度行動障害支援者養成研修の修了者が在籍しているので、今後も研修や職員間の情報共有、必要時には外部の関係機関と相談しながらより良いサービスの提供に努めていきたい。
2	中高生が主であるが、部屋が狭い。	訓練室以外にも児童の過ごす場所を日々様子で対応している。	相談室や静養室又は休憩スペースを使用したりして児童が過ごしやすい環境整備を心掛けている。
3	事業所周辺の地域との交流ができていない。	地域の人との交流が出来るような活動などが出来ていない。	児童館や地域の公園へ行く機会を設けているが、感染症対策に十分配慮しながら参加ができる地域の行事があれば参加していきたい。